

釜戸町の将来を担う釜中連によるボランティア活動

対象学校名等	瑞浪市立釜戸中学校	対象学年	全学年
支援活動内容	釜戸校区中学生ボランティア連合（釜中連）による地域連携・協働の推進		

学校の願い

瑞浪市の市街地から東に約4キロのところにある釜戸町は、国道19号線沿いに集落が並ぶ人口約2,940人（釜戸中学校の生徒数83人）の豊かな自然と歴史が息づく町である。平成31年には、近隣3中学校（瑞陵中学校・釜戸中学校・日吉中学校）が統合され、釜戸地区から中学校がなくなってしまうことから、地域連携・協働の基盤づくりを進めるとともに、『地域社会人』の育成をめざして、既存の取組・行事を見つめ直し、更に新たな活動を生み出し、地区の活性化を図りたいと考えている。

組織と地域との関わり

『感謝の地域貢献』と銘打たれ、釜戸中学校伝統の5本柱の1つとして位置付き、釜戸校区中学生ボランティア連合が組織されている。毎年6月にその年の地域活動のボランティアに参加するかどうかのアンケート調査を行い、参加の意思を示した生徒で構成される。（『釜戸校区中学生ボランティア連合規約』より）また、組織の中に学校顧問と地域顧問が位置づけられ、地域顧問は公民館主事はその役を担い、学校と地域の緊密な連携を図っている。

夏祭り・文化祭等の実行委員会には、校長もしくは教頭が参加し、全体把握をするとともに、中学生が担う役割の総括を行う。（公民館・コミュニティーセンター・区長会等との連携）

活動の工夫や効果

夏祭りにおいて、ボランティアとして参加のレベルから、1つのブースを任されたことで、企画・運営の段階から中心となって携わる（公民館主事はバックアップをする）参画のレベルへと上がっている。それによって、地域のことを考えて企画・運営することの難しさとやり切った達成感、地域の人たちとの関わりのおおきさ、地域に対する誇りを実感することができた。→『地域社会人』への確かな一歩となった。

釜戸中学校の全校生徒、PTA母親委員会、教員と学校が一丸となった行事となった。（ボランティアの運営スタッフ…約20名、当日のボランティア…全校生徒）生徒の活躍により、夏祭りが盛り上がり地域の大人も元気になり、共に成長することができた。（地域の人との主体的・積極的な関わりによる。）

文化祭でイベントの司会など当日の運営、地域防災訓練への参加、各施設への地域清掃など、地域連携・協働のための取組が拡充している。



【出店でのボランティア】



【忍者屋敷受付】